

2022年7月29日

各 位

会社名 株式会社 安江工務店
 代表者名 代表取締役社長 山本賢治
 (コード番号：1439 東証スタンダード・名証メイン)
 問合せ先 常務取締役 執行役員 印田 昭彦
 (TEL 052-223-1100)

2022年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月9日に公表いたしました2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、同日に公表いたしました個別業績予想の修正はございません。

記

1. 2022年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,441	46	45	15	12.03
今回修正予想 (B)	3,204	5	14	△6	△4.88
増減額 (B - A)	△236	△40	△31	△22	—
増減率 (%)	△6.9	△87.5	△69.1	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	3,192	60	60	27	21.53

2. 修正の理由

2022年12月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、住宅リフォーム事業において、営業エリアの拡大と深耕施策により大型工事や外装工事等が伸長したものの、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響で給湯器などの住宅設備機器の納期遅延が発生し、リフォーム工事の着手を延期している物件があることから伸び悩みました。また、新築住宅事業において、熊本の震災復興需要の反動減に加えて、ウッドショック等による木材や資材価格の高騰等を要因として売上総利益率が低下しました。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

3. 2022年12月期通期業績予想

2022年12月期の通期業績予想につきましては、主力の住宅リフォーム事業において、大型工事等の受注残があることや、新規の引き合い状況・受注額が堅調に推移していることに加え、木材や資材価格の高騰が落ち着いて請負価格への反映が進んでいることから、通期業績予想及び配当予想の修正はございません。今後、市場環境の変動等で業績の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上